



■瀬上沢は、横浜市最大の森

横浜の南部にある瀬上市民の森、水取沢市民の森、横浜自然観察の森、金沢自然公園等は、289haの連続した緑地として市内最大。その北端に33haの瀬上沢があります。

最寄り駅「港南台」から徒歩で約20分、またはバスでのアクセスがよく、気軽に自然とふれあうことができます。

鎌倉までもつながるその森は、トレッキングやトレイルランニングを楽しむ方が訪れ、また地元の方の散歩道として親しまれています。この森に訪れた方の多くが最初に足を踏み入れるのが瀬上沢です。

■瀬上沢は、横浜市最大のホタルの自生地

谷戸の地形を残す瀬上地区は横浜市の代表的な谷戸11地区の内の1つ。三方が樹林地に囲まれた谷に、池や湧き水からのせせらぎがあり湿地、水田、農耕地といった「谷戸」の環境が残っている貴重な場所。この谷戸の環境が豊かな生態系を維持し、ゲンジボタル、ヘイケボタル、オオタカをはじめとするたくさんの動植物の生息を支えています。

また、住居跡を含む縄文遺跡・古代製鉄遺跡・古代の横穴墓群・江戸期の横堀、昭和の銃眼遺構・160万年前の化学合成貝化石露頭等、人々の暮らしの伺われる遺跡や施設跡など、文化的学術的にも貴重な遺跡が残されています。

■分断された瀬上沢

瀬上沢は昭和の頃まで多様な生物が生息していましたが、約21年前に道路(舞岡上郷線)を開通したために、東側の森と西側の森とで分断してしまいました。生態系も分断され、西の森では小動物や昆虫の減少が明らかになっています。しかし今でも西の森約11haには良好な樹林地、湧き水、湿地があり谷戸の環境が残っています。2011年夏の生物調査によりヘイケボタルやオニヤンマその他多くの生物を確認しています。

■会員、寄付で思いを形に

瀬上沢を守るには10,000人以上の意思表示が必要です。思いだけでは『沈黙の合意』になってしまいます。

会員登録または寄付でのご協力お願ひいたします。寄付金は緑地取得と保全の大切な資金となります。

- | | | |
|--------------------------|----------------|-----------------|
| ・ご寄付 一口100円 から 何口でも可 | ・個人賛助会員 2,000円 | ・法人賛助会員 20,000円 |
| ・JF会員(20歳以下又は会員の家族) 500円 | ・個人正会員 5,000円 | ・法人正会員 50,000円 |

※ 郵便局の「払込取扱票」でのお振り込み

口座番号：00220-7-97531 加入者名：ホタルのふるさと瀬上沢基金 通信欄：会員の種類、寄付の口数 依頼人欄：住所 氏名 電話番号 E-mail

※ 銀行からのお振り込み 郵貯銀行(029) 当座0097531(銀行振込の場合、住所 氏名 電話番号 E-mail等が表示されませんので別途ご連絡下さい)

私たちが思い描いているかたち。

瀬上沢の生態系が、より豊かさが増すように、かつてここにあった田んぼや畑をよみがえらせて里山にもどす。

この絵は、私たちが思い描く瀬上沢のこれからのイメージです。

■自然の形を残している瀬上沢を、守るチャンスは今しかありません

瀬上沢には西の森と道路の周囲を大規模に開発する計画があり、事業者からの住民説明がはじまりました。2012年6月には都市計画提案が横浜市に申請されます。

都市計画提案が認められると、「市街化調整区域」として、かろうじて緑地が守られてきた瀬上沢が、「市街化区域」に変更され、開発が認められます。西の森の谷戸の姿は古代製鉄遺跡とともに、完全に失われてしまいます。

■大勢の市民が声をあげて意志を示すことでしか、瀬上沢で生きる生物や文化を守ることができないのです

「NPO法人ホタルのふるさと瀬上沢基金」は行政に瀬上沢の土地取得要請などの提案を、事業者には瀬上沢保全要請・開発予定地の代替地提案を、面談を重ねて行っています。

地球規模で起こっている温暖化、生物多様性の劣化に対し、世界的に環境保護の取り組みが行われています。

横浜市でも、みどりアップ計画、みどり税創設、150万本植樹計画、ヨコハマbプランなど緑を増やす取り組みがあり、ヨコハマbプランでは瀬上沢がある横浜市南部の緑地帯を「つながりの森」として生物多様性の保全を重点施策として盛り込んでいます。

そのなかで、開発が行われようとしています。木々が切られ山が削られ、川が埋められ付け替えられる。そこでくりかえされてきた無数の命のつながりが消えてしまいます。貴重な遺跡が消えてしまいます。

その光景を横目に自然とふれあい、心から楽しむことができるでしょうか。

「NPO法人ホタルのふるさと瀬上沢基金」は緑地を守る意思表示の手段として、会員登録または寄付をお願いし、市民の思いを行政に届けます。

瀬上沢の生命と文化を 絶やさず次の世代へ



彼らはわずかに残された限られた自然の中で、
何十億年もつながれてきた命をくり返しつなげていく。
変わらぬ日々を今日も明日もこれからずっと送りつづけたいだけ。
私たちの世代で終わらせるわけにはいきません。



2011年12月再浮上した開発計画、削られる自然は約11haもあり、
そこで失われる生態系が円海山緑地一帯の自然に与える影響は
大きいはず。わずかにしか残されていない横浜の自然を大切に守って
いくには、瀬上沢を全面保全する必要があります。

2012年度中に横浜市が審議し決定されるまでの数ヶ月間
この貴重な自然を残すために1人でも多く、私たち市民が声をあげ
意志を示さなくては、この地の命と文化を失い元に戻ることはありません。



NPO法人 ホタルのふるさと瀬上沢基金

代表 角田東一 県認証番号:N協第1083号 法人登録番号:0200-05-006727
〒234-0054 横浜市港南区港南台9-30-31 Tel 090-6191-1861 Fax 045-832-9167
E-mail segamikikin@gmail.com ホームページ <http://www.segamikikin.org>
協力：瀬上沢文化遺産研究会 パタゴニア日本支社

